

ファミリー合同礼拝 「逃げるエリヤ」

Ⅰ列王記 19:1-18

2019.10.20 HKJCF

1

概観

力強く奉仕して、勝利を納めたエリヤはイゼベルの威嚇で疲れ切って落胆していた。エリヤはどのように語られ、どのように立ち直ったかを一緒に学びたい。

アウトライン

- | | |
|----------------|-------|
| 1. ベエル・シェバで：逃避 | V1-3 |
| 2. 荒野で：絶望 | V4-8 |
| 3. ホレブで：召命 | V9-18 |

2

1. ベエル・シェバで：逃避 V1-3

- 1) エリヤの勝利：順風満帆の働き＝鳥による養い（17:6）；無くならない油と粉（18:16）；子供の復活（18:22）；バアルの預言者に勝利（18:38）→傲慢さ；他人の心を変えること。
- 2) 使者を遣わすイゼベル：殺す計画はない；エリヤの期待どおりにならなかった。
- 3) ベエル・シェバ：ユダの管轄；イゼベルの影響が及ばない場所→恐れる時の決断。
- 4) 若い者を残した：若い預言者たちを放棄。

3

2. 荒野で：絶望 V4-8

- 1) もう十分です：弟子と契約の民を失った；報われない孤独感；期待はずれの結果。
- 2) 先祖たちに勝っていない：過去の預言者にかなわない；自分の逃避的な弱さに失望→ありのままの心境を訴える（民数記 11:10-15）。
- 3) 起きて、食べて：神は必要な休息を与え、二度神様に触れられた→恵みに包まれる。
- 4) 旅はまだ遠い：自分の計画⇄神様の計画；モーセを意識して、自分でホレブに向かった。

4

3. ホレブで：召命 V9-18

- 1) 主の問いかけ（V9,13）：「ここで？」（創世記 3:9）→恐れをもって、神の臨在を避けようとする時；自分の実態に気づく機会。
- 2) エリヤの答え（V10,14）：自己アピールや自己憐憫；思い込み→100人の生存（18:13）。
- 3) 大風→地震→火：神の顕現→何の変化ももたらさなかった→主に語られること（19:13）。
- 4) 神の方法：熱心すぎるエリヤ；自分でなくてもOK→ハザエル、エフー、エリシャ。

5

適用

- 1) 主を見上げつづけるように：
無力感や絶望感に襲われても、ありのままの心境を訴え、神の扱いを求めるように。
- 2) 神の方法を信じるように：
いつも派手で目立つ方法ではなく、神はかすかな細い声や地道な働きで、私たちの将来を導いてくださる。

6